

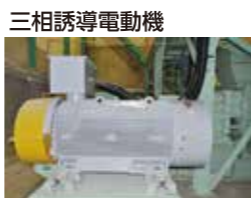
水で冷やしながらかピットへ運びます



RPFが押し出されながら、スクリーカッターでカットされます。



成形機



350kwの大型モーター2台で圧縮しながら熱を加えて固めます



工場内部で作られたRPFは開口からトラック等に積載が容易な外部ピットに落とされます。



RPFの原料を排出される業者様を募集中!

- 焼却処理と比較した場合、コストダウンメリットがあります。
- 廃棄物の流れを明確にできます。不法投棄の心配がありません。
- 環境への取り組み姿勢から企業のイメージアップにつながります。



☎ 0120-01-5255

本社営業までお問い合わせください



RPF

Refuse Paper & Plastic Fuel

固形燃料RPFの製造を通して、地球環境に貢献します。

100% recycled



品質、能力、環境…。あらゆる面でメリットがあるRPFは、これからの時代の固形燃料です！

RPFの主な特徴

RPFは再利用困難な廃プラスチックと木くず・紙から作られる固形燃料！資源のリサイクルに貢献する循環型エネルギーとして注目されています。

廃棄物処理コストを削減

従来埋め立て費用がかかっていた産廃をRPF化することにより、処理費用を削減することが可能となります。

排ガス対策が容易

RPFは不燃物混入が少ないため、設備にもたらされる塩素ガスのトラブルが回避でき、ダイオキシンもほとんど発生せず安心です。

環境に対する貢献

RPFは化石燃料と比較し、二酸化炭素排出量を33%削減できます。CO₂排出量を抑制し、地球温暖化防止にも貢献します。

高い熱量

RPFは高い熱量を持ちます。石炭相当の燃焼力！石炭と同等の熱量6,000～7,000キロカロリーを誇るため、化石燃料の替わりとして用いる事ができます。

取り扱い、運搬、貯蔵が容易

RPFは、直径3センチ程度の円柱状。一定形状で密度の高い固形燃料で石炭と同様の利便性があり、取り扱いや運搬・貯蔵性にも優れています。

低価格なので経済的

RPFの価格は、石炭のおよそ3分の1。石炭などの化石燃料にかかっていた費用負担を大きく軽減することができます。

RPFの主な原料

産業廃棄物の中でも製紙原料になりにくい特殊な紙類、マテリアルリサイクルが難しいプラスチック複合素材が原料になります。



廃プラスチック類



木くず



紙くず



藁・スタイロ量



繊維くず

【原料となる主なプラスチック類】

ポリエチレン(PE):食品容器、包装用フィルム、買物袋、ポリタンク、電線被覆材、通箱、アルミ蒸着紙
ポリプロピレン(PP):薬品の容器、結束ひも、お菓子の包装袋、DVD・CDケース、通箱、アルミ蒸着紙
ポリスチレン(PS):家電製品(TV・PCの筐体等)、食品用トレイ、発泡スチロール、プラモデル、DVD・CDケース
ポリエチレンテレフタレート(PET):PETボトル(清涼飲料、酒類の容器)、フィルム、衣料用の繊維
ポリカーボネート(PC):AV機器・携帯電話・コピー機等の筐体、旅客機の客室窓
アクリルアジエンスチレン(ABS):自動車部品、家具、テレビキャビネット
ナイロン:合成繊維
アクリル:レンズ
ポリウレタン:自動車のシート、クッション材、断熱パネル、防水材

【原料となる主な紙類】

特殊紙:加工紙、ラミネート紙、紙製容器等、アルミ蒸着紙、感熱紙、カーボン紙、OHP
粘着テープ:ラベル、ステッカー、ガムテープ
ロール状損紙:切り落とし紙、フィルム類
平判損紙:切り落とし紙、フィルム類
紙製容器包装:容器包装リサイクル法における分別基準適応物
※汎用プラスチック(低密度ポリエチレン(LDPE)、高密度ポリエチレン(HDPE)、ポリプロピレン、塩化ビニール、ポリスチレン)のうち、塩化ビニール(PVC)はダイオキシン類が発生するため原料にできません。
※上記以外はお問い合わせください。

RPF化の流れ

